

早稲田の杜金管合奏団 第19回定期演奏会



ウラジオストク第33小中学校にて (2018/9/24)

The Waseda Brass

2019年2月17日(日)開演13:30 日本橋公会堂

曲目解説

第1部

音楽祭のプレリュード (A.リード作曲 内田憲一編曲)

吹奏楽界の大御所アルフレッド・リード (1921~2005) が、1957年にオクラホマ州のフィリップス大学で開催された音楽祭の25周年を記念して作曲しました。リードの作品の中では、ごく初期の作品です。アメリカでは初演以来非常に人気の高い曲ですが、日本でも1970年に吹奏楽コンクールの課題曲に採用されて以来、長年にわたって高い人気を得ています。

アラフエス協奏曲より (J.ロドリゴ作曲 山瀬幸雄編曲)

スペインの盲目の作曲家、ホアキン・ロドリゴ (1901~99) が 1939 年に作曲したギター協奏曲の第 2 楽章をモチーフとしました。原曲も通常の協奏曲と異なり、第 2 楽章が長いのが特徴です。冒頭でコール・アングレが奏でる美しい旋律が特に有名で、マイルス・デイビス (tp) やジム・ホール (g)、チック・コリア (p) など、多くのジャズ・ミュージシャンも取りあげています。

ピッツバーグ序曲 (P.スパーク作曲)

イギリスの作曲家フィリップ・スパーク (1951~) が、ピッツバーグを拠点としているブラスバンドからの委嘱で、1987 年から 90 年にかけて作曲した 4 曲からなる「ピッツバーグ交響曲」の第 1 楽章です。各楽章が単独で演奏される場合も多く、その場合は副題の「ピッツバーグ序曲」と呼ばれます。

バレエ「白鳥の湖」より (P.チャイコフスキー作曲 大原実編曲)

チャイコフスキー (1840~1893) が作曲した 3 大バレエのひとつ「白鳥の湖」から 5 曲を演奏します。

a.情景

「白鳥の湖」のなかで最も有名な曲です。オリジナルではオーボエによる哀愁たっぷりのメロディが印象的ですが、金管楽器でどこまでその雰囲気を出せますか。お楽しみに。

b.4 羽の白鳥の踊り

第 2 幕のいくつかの「白鳥の踊り」のなかの 1 曲。4 人の踊り手が手をつないだまま踊ることから、「4 羽の白鳥の踊り」として知られています。

c.スペインの踊り

スペインの王女が、カステネットを叩きながら踊る情熱的なボレロです。カステネットとタンバリンのリズムが印象的です。

d.ナポリの踊り

ナポリというだけあって、トランペットにぴったりの明るくのびのびした旋律が演奏されます。後半はテンポが速くなり、タランテラ(tarantella)という快速テンポの民族舞踊で終わります。

e.ハンガリーの踊り

ハンガリーの代表的な踊り、チャルダッシュです。ゆったりした部分のラッサンと、速く情熱的なテンポのフリスカで構成されています。

【休憩】

第 2 部

「76 本のトロンボーン」 (M.ウイilson作曲 大原実編曲)

メレディス・ウィルソン (1902~1984) のミュージカル「ミュージック・マン」に登場する行進曲です。主人公の楽器セールスマンが田舎町の住民に大量の楽器を売ろうと、大規模なマーチング・バンドでパレードをする子供の姿を想像させるために歌った曲です。

バーナード・キャッスル (G.リチャーズ作曲)

イギリスの作曲家ゴフ・リチャーズ (1944~) が、イングランド北東部にあるダラム州の都市バーナード・キャッスル (Barnard Castle) で活動している金管バンドからの依頼で作曲したマーチです。

リベルタンゴ (A. ピアソラ作曲 大原実編曲)

アルゼンチン・タンゴの革命児といわれたピアソラが1974年に発表した曲です。1999年にチェリストのヨーヨー・マによる演奏がウイスキーのCMに使用されたことから、彼の代表曲ともなっています。

サンチェスの子供たち (チャック・マンジョーネ作曲 大原実編曲)

チャック・マンジョーネ(1940～)はアメリカのジャズ・フュージョン界で活躍しているトランペット、フリーゲルホルン奏者で作曲家でもあります。ラテン・テイストをふんだんに取り入れたメロディアスで心地よいナンバーを次々と発表し、全米で大ヒットしました。1978年にはアルバム「サンチェスの子供たち Children Of Sanchez」で2度目のグラミー賞を受賞しています。

トロンボーン・アンサンブル「ロシア民謡メドレー」(内田憲一編曲)

おなじみのロシア民謡「コロブチカ」「トロイカ」「カチューシャ」「カリンカ」の4曲をメドレーにして、トロンボーン・アンサンブルで演奏します。昨年秋のウラジオストク公演でも好評を頂きました。

「スター・ウォーズ」よりメイン・テーマ (J.ウィリアムズ作曲 由谷一幾編曲)

1977年に公開された映画「スター・ウォーズ」のために、ジョン・ウィリアムズ(1932～)は多くの曲を作曲しました。本日はそのなかから最も有名なメイン・テーマを演奏します。ジョン・ウィリアムズは現代アメリカを代表する映画音楽作家で、ほかにも「インディ・ジョーンズ」「ジョーズ」「スーパーマン」など、数多くの映画音楽を手がけています。またアメリカで開催された3つのオリンピック「1984ロサンゼルス」「1996アトランタ」「2002ソルトレイク・シティ」のすべてのファンファーレも彼の作品です。

早稲田の杜金管合奏団 The Waseda Brass

Conductor	中島章博
Trumpet	磯崎直人 大内仁 北村和弘 (コンサートマスター) 久保正彰 (司会) 武内昌徳 坪井賢一 山瀬幸雄
Flugelhorn	磯崎直人 大内仁 坪井賢一 山瀬幸雄
Horn	川俣裕章 高橋正幸 塚田義昌 辻村憲治 矢澤元 渡辺勇次
Trombone	赤尾達也 (インスペクター) 内田憲一 小倉啓美 加藤寛基 黒野由依 酒井忠雄 天明昭男 西本江里
Euphonium	石坂匡史
Tuba	今泉康弘 牛野広一郎 駒形正人
Percussion	小田崇史 田中厚 中村純子 野田俊也 三浦明子 渡辺裕子
Stage manager	川俣裕章
Orchestration	内田憲一 大原実 山瀬幸雄 由谷一幾
Librarian	大内仁

★本日の演奏会には、社会福祉法人東京都社会福祉協議会 東京善意銀行を通じて、福祉施設利用者並びにご家族・施設関係者のみなさまをご招待しております。ご理解のほどをお願い申し上げます。★

中島章博（指揮者）profile

1981年生まれ。早稲田大学理工学部、東京大学大学院工学系研究科博士前期課程を経て同後期課程へ進学した後、2007年10月より3年間、ザルツブルク・モーツァルテウム大学指揮科に留学。「クルト・レーデル指揮コンクール2012」にて1位なしの2位に入賞。2013年3月、博士（工学）を取得。指揮を故クルト・レーデル、デニス・ラッセル・デイヴィス、ホルヘ・ロッター、曾我大介、シメオン・ピロンコフの各氏に、フルートを湯川和雄、岩佐和弘の両氏に師事。また、故ゲルト・アルブレヒト氏より数日にわたり指揮のレッスンを受ける。これまでに、シュトゥットガルト室内管弦楽団、チェコ国立モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団をはじめとするヨーロッパの数多くのオーケストラを指揮するほか、TBS テレビ「マツコの知らない世界」にてMCFオーケストラとちぎを指揮し、奏者として加わったマツコ・デラックス氏と共演、また乃木坂46「羽根の記憶」のミュージックビデオに指揮者役として出演した。近年は作曲にも力を入れており、2017年1月より群馬テレビ、各独立放送局及び動画サイト等にて放送・配信のアニメ「戦隊ヒーロー スキヤキフォース」の作曲・音響デザインを担当している。早稲田の杜金管合奏団は2006年～12年マレーシア演奏旅行、2011、13、15、17年岩手県演奏旅行、2016、18年ロシア演奏旅行、2008年以降の定期演奏会など、各種演奏会で指揮している。

ワセキン年次報告 Annual Report

2018年のワセキンは、2月に第18回定期演奏会を日本橋公会堂で開催し、9月には2度目のウラジオストク演奏旅行に出発しました。今回はウラジオストク国際空港のあるアルチョーム市フィルハーモニーホールで公開演奏会を開きました。地元放送局の取材も入り、テレビのニュースとして放映されています。会場はほぼ満席で、熱狂的な拍手をいただき、一同感激した次第です。翌日はウラジオストク第33中等学校講堂で演奏会を開きました。この学校で演奏するのも2回目です。

ロシアではザ・ピーナッツの1963年のヒット曲「恋のバカンス」がよく知られています。60年代からロシアの歌手によってカバーされ続けてきたようで、本当に超有名曲でした。私たちも金管合奏用にアレンジして2度演奏し、たいへん好評でした。今年（2019年）は、11月に岩手県（大船渡市、奥州市）演奏旅行へ参ります。震災後、2011、13、15、17年に続き、5回目の演奏旅行となります。

今回も練習のご指導をお願いしたみなさまにはたいへんお世話になりました。今シーズンご指導いただいた敬愛する3人の音楽家のみなさまをご紹介します（順不同/敬称略/文責・坪井賢一）。

村田厚生・・・桐朋学園大学音楽学部卒業（トロンボーン専攻）。ドイツ学術交流会給費留学生としてベルリン芸術大学を卒業。現在、ソロ、アンサンブルなどで活躍。CDも多数制作、発売中。

今瀬康夫・・・国立音楽大学器楽科ホルン専攻卒業。ワセキンの団員3人と長野高校吹奏楽班の同窓。内外のオーケストラや室内楽で演奏しつつ、指導者やプロデューサーとしても活躍。

由谷一幾・・・早稲田大学交響楽団出身。ワセキンは打楽器演奏のほかトレーナー、作編曲を委嘱。2012年2～3月のワセオケ欧州公演では、自作「和太鼓と管弦楽のための協奏曲」が世界初演されました。

ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京



Flutes Salon & Powell Flutes Japan
フルートサロン&パウエルフルートジャパン
パウエルフルートジャパンとワールドフルートサロンから構成された広々としたゴージャスなサロン。



Wood Wind Instruments Salon
木管楽器サロン
ラジエーターで暖もれた空間、クラリネット、オーボエ、ファゴットの一流ブランドをコレクション。

Dolce Tokyo Music Academy

ドルチェ東京ミュージックアカデミー
管楽器の一流演奏家による、一流のレッスンが気楽にお受けいただけます。
便利なロケーションで
ライフスタイルにあった
管楽器の個人レッスン。



Brass Instruments Salon
金管楽器サロン
トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバのネリジナルブランドをはじめとしたトップブランドを一覧に。



Saxophones Salon
サクソフォーンサロン
クラシカルな雰囲気とモダンなテイストを融合させたスペース。
サクソ奏者の多様なミュージックライブをサポート。

Powell Flutes Japan Artists Salon "Dolce"

100名キャパシティの
洒落なサロン。
スタインウェイピアノ、
録音録音機材など
備えています。



Dolce Wind Instruments Avenue Tokyo



新橋駅



ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京
〒180-0023
東京都新宿区西新宿1-13-12 西新宿和ビル8F
TEL.03-6909-1771 FAX.03-6345-1388
tokyo@dolce.co.jp www.dolce.co.jp
10:30am~7:00pm 木曜定休(祝・祭日は営業)